

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：通所やまゆり

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）
通所介護

日時：令和6年12月12日（木） 13：30～14：30

会場：社会福祉法人やまゆり 生活支援ハウスホール

参加者
（人数）

利用者代表	0人	有識者	0人
利用者家族	2人	高齢者あんしん支援 センター職員	1人
地域住民の代表	0人	出雲市職員	1人
その他（理事長、施設長、課長、管理者）			4人

（議題）

1. 利用状況（介護度別、曜日別）
2. 活動報告 4月～11月
人材育成について（外国籍職員への教育）

（会議の内容…活動報告、評価、要望、意見、助言等）

議題1.利用状況

介護度 要介護5 （男性0名、女性0名）
要介護4 （男性1名、女性0名）
要介護3 （男性0名、女性4名）
要介護2 （男性2名、女性4名）
要介護1 （男性4名、女性11名）
要支援2 （男性5名、女性7名）
要支援1 （男性2名、女性1名）
事業対象者（男性0名、女性2名）
登録数 計 43名

議題2. 意見交換

家族代表：入浴も日によって人数が違うが、男性と女性の利用者さんの比率はどれくらいですか？

▶男女比だと1：3の割合で女性利用者の方が多い。ご紹介した特浴も

あり、これまで浴槽に入りにくかった方も安心して入る事が出来て喜んで頂いている。

家族代表： 職員体制の事で大変ご苦労だと思うが、土曜日の営業を少しでも早くお願いしたい。かがやきの家は営業されているが登録が18人で利用できない事が多いので。

▶体制が整い次第、営業を再開する方針でいる。待っていただいている利用者様、ご家族様には申し訳ありません。

包括支援センター：活動報告を見て利用者さんは勿論だが職員の皆さんも一緒に楽しんでおられる様子が伺えて良いと思う。

▶職員が楽しくなければ利用者の方も楽しくないと思う。レクリエーションは職員も一緒に参加して楽しめる内容を意識的に取り入れている。

包括支援センター：ケアマネとの連携について意識されている報告があったが、事業所から細やかに報告や相談をしてもらって助かっている。

▶利用者様の生活支援についてケアマネジャーの皆様との連携が本当に重要だと思っている。細かい事でも何かあれば報告し情報を共有出来るように意識している。

出雲市：外国人雇用について市から助成されていますが、現在の職員の方はその関係でおられるか？

▶現在いる外国籍の職員は制度の始まる前に入職された方であり助成金の対象とはなっていない。

家族代表：入浴の人数が多い曜日もありますが、職員さんは何人で対応されていますか？

▶入浴時の浴室での職員は2名で対応をしている。以外にも看護師による処置であったりと入浴担当職員以外もフォローに入っている。

家族代表：外国籍の職員さんに対しての教育で日本人の職員との違いや留意している所がありますか？

▶外国籍の職員さんに対しての教育では文字だけでなく写真や絵を用いたりしている。伝えた後も理解できているかを日本人の職員よりも細目に確認をしている。また、その国の文化や人柄などを職員間で共有したりと、本人だけでなく国についても勉強する機会をもつようにしている。

【まとめ】

今後も安心してサービス利用をして頂くためには職員間での情報共有をしっかりと行い統一したケアをしていく事が大切である。外国籍の職員も含めた全職員が利用者の方の満足度を高める関りを提供していく。

以上